

「徳島県企業局経営計画の令和3年度 進捗状況及び評価」について

1. 企業局経営計画の評価

「企業局経営計画」：平成29年度を初年度とする10年間

【手順】→「戦略的経営推進委員会（8月4日）」に報告、意見の聴取
→議会報告（9月事前委員会）、閉会后企業局HPで公表

【令和3年度評価案】

（再掲除く）

項目数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
51	43(84%)	7(14%)	1(2%)	0(0%)

2. 令和3年度の実績

(1) 順調または妥当（主なA評価）

経営目標1 「社会貢献の加速」

○スマート回廊を核とした地域振興

- ・地域の観光資源を活用したニューツーリズムの創出

【KPI：地域と連携したツーリズム実施数5回以上/年】

→ R3 「自然エネルギー探検隊バスツアー」や施設見学会等、14回実施

○森づくりの支援

- ・ダム水源地での地域が進める森づくりを支援

【KPI：公有林化支援面積（累計） R3 782ha】

→ R3 170haの公有林化取得を支援し、累計 842ha

経営目標2 「安全安心の確保」

○南海トラフ巨大地震対策の加速

- ・工業用水道管路の耐震化

【KPI：緊急性の高い管路 8.4km整備 R3 90%】

→ R3 8.3kmの整備が完了、進捗率 99%

○「企業局のスマート化」の推進

- ・設備の保守管理等にAI、ロボットなどの革新技術を実装・活用

【KPI：産学官との連携等で培ったノウハウを活かしたドローンの活用】

→ R3 水中ドローンによる施設点検、固定カメラ、ウェアラブルカメラの導入

経営目標3 「経営力の強化」

○企業局の新たな広報・PRの取組

- ・新たな時代に即した戦略的な広報・PRを通じた企業局事業への理解の促進

【KPI：PR動画やエコバッグ等の制作・活用】

→ R3 「徳島県企業局PR動画～自然をチカラに～」を制作、各所で公開

○日野谷発電所の発電能力の最大限活用

- ・最大取水量の弾力的運用による発電能力の最大限活用

【KPI：最大取水量の弾力的運用 R3 運用】

→ R3 出水時、弾力的運用を9回実施し、発電電力量約69万kWhの増加

(2) 概ね順調または概ね妥当 (B評価 7項目)

※KPIの数値目標が8割以上であったもの

経営目標1 「社会貢献の加速」

○市町村等における小水力発電の事業化の支援

- ・小水力発電の市町村等へのプッシュ式導入支援

【 KPI : 市町村等による事業化 R3 技術支援 】

→ R3 事業化に向けた実施計画を提案しているが、現時点で事業化に至らず

○地域振興の事業支援

- ・水源地域で実施する地域の魅力づくり等を支援

【 KPI : 15団体以上/年 】

コロナ

→ R3 「ダム水源地サポート事業」により13団体を支援

○県民理解の促進

- ・川口エネ・ミューを活用した見学会等の実施

【 KPI : 川口エネ・ミュー年間延べ体験者数 R3 18,100人以上/年 】

コロナ

→ R3 一時休館やイベント中止により入館者数は大幅に減少したが、ニューノーマルに対応したICT授業等を実施、体験者数 17,383人

経営目標3 「経営力の強化」

○未売水の低減対策

- ・受水企業訪問

コロナ

【 KPI : 15社以上/年 】

→ R3 全ユーザーにアンケート調査を行うとともに、13社に企業訪問等実施

- ・新規需要の開拓等による契約水量の増大

【 KPI : 契約有収率 R3 75% 】

→ R3 74%と目標値に未達であったが、前年より1% (1,900m³/日) 増加

○リース契約地の売却

- ・契約企業への営業活動、他部局連携

【 KPI : 企業訪問による状況調査 】

→ R3 契約企業を始め誘致企業などと幅広く情報交換を実施

○顧客・利用者のニーズ調査

- ・利便性向上、利用者ニーズ把握に係る駐車場利用者へのアンケート調査

【 KPI : 1,000人以上/年 】

コロナ

→ R3 コロナの影響を受け、近隣でのイベントが減少、980人

(3) 要努力 (C評価 1項目)

※KPIの数値目標が8割未満であったもの

経営目標3 「経営力の強化」

○駐車場利用台数の確保

- ・駐車場利用者の利便性等を図り、利用台数を確保

コロナ

【 KPI : 20万台以上/年 】

→ R3 コロナの影響を受け大幅に減少、利用台数 124,051台

徳島県企業局経営計画における令和3年度進捗状況及び評価（一覧表）

経営目標 I 社会貢献の加速

【 】：前年度評価

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価
①自然エネルギー導入の加速			
市町村等における小水力発電の事業化の支援 【事業推進課】			
1	・小水力発電の市町村等へのプッシュ式導入支援 市町村等による事業化	・美馬市及び上勝町と協働して小水力発電の導入を検討。平時の自家消費や災害時にも活用が可能な事業化プランにおける配電線の規制等の課題に対し、市町と継続検討するとともに、事業化に向けた実施計画を提案した。 ・R4.1に河川の流況調査を終え、結果を事業化プランに反映した。 【実績】市町村等による事業化：R3 事業化に向けた実施計画の提案	B 【B】
自然エネルギー関連技術の支援 【事業推進課】			
2	・市町村・民間等への技術支援 市町村・民間等への相談窓口による技術支援	・3市及び民間事業者3者の計6者に対して小水力発電等に関する情報提供を行った。 【実績】情報提供、普及促進：R3 6者	A 【A】
	関係部局と連携し、市町村・民間等向け説明会の実施 毎年実施	・市町村向け説明会（県・市町村再生可能エネルギー連絡協議会）は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止となったが、会議資料を参加対象者に送付することで、自然エネルギーの導入支援を実施した。 【実績】説明会：R3 1回（資料送付）	B 【B】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価
②「既存ストックの有効活用」と「政策連携」による地方創生への貢献			
スマート回廊を核とした地域振興 【経営企画戦略課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】			
3	・カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備 カヌー・SUPの拠点整備	・R1年7月に策定した川口ダム湖畔活性化構想に基づき、R3年11月よりカヌー・SUP拠点整備事業である川口ダム自然エネルギーミュージアム第2駐車場の護岸工事に着手した。	A 【A】
4	・地域の観光資源を活用したニューツーリズムの創出 地域と連携したツーリズム実施数 5回以上/年	・スマート回廊施設見学会は、R3年度は4月25日から3月27日まで11回実施した。 ・7月10日、10月9日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計38名の参加があった。 ・11月6日に秋の間伐体験を実施した結果、14名の参加があった。 【実績】ニューツーリズム：R3 14回実施	A 【A】
5	・日本科学未来館、あすたむらんど等との連携 企画展示数 5回以上/年	・4月17日から5月5日までの日程で、全国科学館連携協議会の協力により「SDGsクイズボード」の巡回展示を実施した結果、255名の観覧があった。（その他の企画展示を含め合計	A 【A】

			<p>5回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本科学未来館より学習資料の提供を受け、9月23日、2月6日に遠隔会議アプリZoomを活用した発電やエネルギーについてのICT授業を行った結果、東京や大阪など全国13都府県から63名の参加があった。 あすたむらんどから講師を招いた星空観望会を7月24日、10月3日に開催した結果、57名の参加があった。 <p>【実績】企画展示等：R3 9回実施</p>	
森づくりの支援 【経営企画戦略課】				
6	<ul style="list-style-type: none"> ダム水源地での地域が進める森づくりを支援 	<p>公有林化支援面積（累計）</p> <p>R2 682ha</p> <p>R3 782ha</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水力発電事業に係る県営発電所が所在する町において、公有林化を促進し、良質な水資源の確保を図るとともに、地域の環境整備や地域貢献に資するため「ダム水源の森を守り育てる事業」を実施した。 事業実施内容 予算額：R3 50,000千円 内 容：川口ダム又は棚野ダムの上流域の森林で、間伐等の適切な管理ができていない又は今後この恐れのある森林、町道又は林道沿いで風水害発生時の倒木により、集落の孤立や電線の寸断等の影響が懸念される森林を対象として、次に掲げる事業に対し補助金を交付する。 （1）公有林化取得支援事業 （2）森林整備等支援事業 （3）森づくりの周知・啓発支援事業 その結果、那賀町等が実施した170haの公有林化取得を支援した。 <p>【実績】公有林化支援面積：R3 170ha、累計 842ha</p>	A 【B】
7	<ul style="list-style-type: none"> 町等が実施する森林の間伐・植林等を支援 	<p>森林整備（間伐・植林等）支援面積</p> <p>80ha以上/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> No.6「ダム水源の森を守り育てる事業」における「森林整備等支援事業」に対し、補助金を交付することにより、那賀町等が95haの森林整備を実施した。 <p>【実績】森林整備支援面積：R3 95ha</p>	A 【A】
8	<ul style="list-style-type: none"> 企業局の森づくりを情報発信 	<p>「エネ・ミューの森」等でのイベント実施数</p> <p>3回以上/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> H29年度に取得、整備した森林体験エリアを活用し、7月10日、10月9日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計38名の参加があった。 11月6日に秋の間伐体験を実施した結果、14名の参加があった。 <p>【実績】イベント実施数：R3 3回実施</p>	A 【A】
地域振興の事業支援 【経営企画戦略課】				
9	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援 	<p>支援団体数</p> <p>15団体以上/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「電気事業に係る施設」が所在する町において行われる、地域の活力や魅力づくり等の推進活動、環境教育及び環境保全活動を支援する「ダム水源地サポート事業」を実施した。 事業実施内容 予算額：R3 5,500千円 内 容：県営発電所等が所在する町及びその水源地域(美波町は赤松地区に限る)で実施される次に掲げる事業 I型 (1)水源地域におけるイベント等の実施により、地域の活性化又は交流人口の拡大を図る事業 II型 (1)ダム及び河川の保全に寄与する事業 (2)自然エネルギー及び環境保全学習を通して、次世代を担う人材育成を推進する環境教育事業 I型11団体、II型で2団体の合計13団体に補助金の交付決定を行った。 <p>【実績】支援団体数：R3 13団体</p>	B 【B】

ダム水源地域の河川環境改善 【事業推進課】				
10	・陸封アユの稚魚放流及び汲み上げ放流等の実施	河川環境改善策の検証・再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・那賀町及び川口ダム上流域の漁業組合等を委員とする「川口ダム上流域での河川環境改善検討会」を2回開催した。 ・川口ダム周辺及び上流域における魚類の生態調査として徳島大学に受託研究を依頼した。 ・川口ダム上流域での稚魚放流が、その生息状況の調査等により流域全体に寄与することの検証を行った。 ・鮎の産卵環境整備により個体数が増加することに伴う地域ブランド力の強化を図った。 	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価
----	-----------------	------------	----

③戦略的な情報発信の推進

ケーブルテレビなどの各種媒体の活用 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】

11	<ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアを活用した情報発信 ・ケーブルテレビ ・ホームページ ・フェイスブック ・ツイッター ・インスタグラム ・You Tube ・PV (4K) 等 	ホームページの適時更新、フェイスブック等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容を適時更新したほか、ケーブルテレビで川口エネ・ミューを広報した。 ・You Tube「川口エネ・ミューチャンネル」において、自然エネルギーの学習機会の創出を図った。 ・企業局事業の県民理解促進のため、新たに「徳島県企業局PR動画～自然をチカラに～」を制作し、SNSで公開を行った。 	A 【A】
		年50回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビでのミュージアムCM放送やフェイスブック等による情報発信を適宜行った。 <p>【実績】</p> <p>記事掲載回数：R3 66回</p> <p>アクセス数：R3 Facebook 4,719件、Twitter 89,959件</p> <p>R2 Facebook 12,104件、Twitter 112,562件</p> <p>(R1) Facebook 14,146件、Twitter 60,918件)</p>	A 【A】

県民理解の促進 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】

12	<ul style="list-style-type: none"> ・川口エネ・ミューを活用した見学会、学習ひろばや県政バス等の実施 	川口エネ・ミュー年間延べ体験者数 R3 18,100人	<ul style="list-style-type: none"> ・企業局事業や、自然エネルギーに対して県民の理解を得るため、ダムや太陽光発電施設等の見学会や学習会を行った。 ・7月10日、10月9日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計38名の参加があった。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、自然エネルギーに関するICT授業を実施し、東京や大阪など全国13都府県の小中学生等63名が受講したほか、「川口エネ・ミューチャンネル」での動画配信を随時実施した。 ・今後、次代を担う子ども達に、水素をはじめとする「多様な自然エネルギー」の理解促進に向けた学習教材（eブック）を製作し、水素を初めとする多様な自然エネルギーのニューノーマルに対応した学習機会を創出する。 <p>【実績】</p> <p>川口エネ・ミュー体験者数：R3 17,383人</p>	B 【C】
		環境学習などの出前授業の実施 15回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や自然エネルギーの大切さを学ぶとともに、ミュージアムの入館者増へ繋げるため、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、徳島県内の小学校及び学童クラブなどで出前授業を行った。 <p>【実績】 出前授業：R3 29回開催 参加者868人</p>	A 【B】

14	<p>・企業局の森づくりを情報発信【再掲、No.8】</p>	<p>「エネ・ミューの森」等でのイベント実施数 3回以上/年</p>	<p>・H29年度に取得、整備した森林体験エリアを活用し、7月10日、10月9日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計38名の参加があった。 ・11月6日に秋の間伐体験を実施した結果、14名の参加があった。</p> <p>【実績】 イベント実施数：R3 3回実施</p>	<p>(A) 【A】</p>
15	<p>・工事現場の進捗状況や施設紹介</p>	<p>ホームページ、フェイスブック等による情報発信 年10回以上 ※No.11の内数</p>	<p>・事前復興の取組としての工業用水管路耐震化工事の状況など、各種工事の情報発信を行った。</p> <p>【実績】 記事掲載回数：R3 14回</p>	<p>A 【A】</p>

経営目標 2 安全安心の確保

取組	K P I 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
④南海トラフ巨大地震・活断層地震、老朽化対策及び事前復興の取組				
南海トラフ巨大地震対策の加速 【施設基盤整備室、経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
16	・工業用水道管路の耐震化	緊急性の高い管路 8.4kmの整備 R3 90%	・吉野川北岸工業用水道の今切第一配水支管の工事進捗を図り、1,090mの耐震化が完成。これにより、8.4kmのうち8.3kmの整備が完了した。 【実績】進捗率：R3 99%	A 【A】
17	・工業用水の代替用水確保のための他利水管との連携	農水管との連結施工箇所数 R2 3箇所	・中国四国農政局と連携し工事進捗を図り、工業用水道管路と農水管との連結口設置工事が完成した。	A 【A】
18	・浄水場浸水対策の集中実施	浸水対策の実施	・吉野川北岸工業用水道の浄水場において、排泥弁室の浸水対策工事を実施し、浄水場における浸水対策が完了した。	A 【A】
活断層地震への対策 【施設基盤整備室、経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
19	・活断層地震等に対応するための防災備蓄倉庫等の整備	防災備蓄倉庫等の整備	・吉野川北岸工業用水道浄水場の防災備蓄倉庫を運用。 ・長期工事計画において備蓄資材修繕をR5実施にて計画。	A 【A】
施設等の耐震化の着実な推進 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
20	・土木構造物の耐震化への集中投資、新たな対応の検討	日野谷発電所、川口ダム施設の耐震化の実施	・耐震化が完了していない川口ダム洪水吐ゲート、ピア（門柱）について、R1年度末に実施時期と方法を決定し、継続検討を行った。 （発電機オーバーホール後のR7年度以降に川口ダム附属施設の耐震化対策を実施予定）	A 【A】
計画的な老朽化対策 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
21	・集中投資期間後における計画的な管路の老朽度評価	管路更新優先度評価の実施	・継続的に耐震化事業を行うため、優先度評価及び試掘調査による老朽度確認を実施した。その結果、新たに優先度が高いとされた区間（阿南工水辰巳配水支管）について、「第2次管路更新計画」を策定した。 ・「阿南工水辰巳配水支管」の耐震化に向けた管路更新設計等のR4年度予算を計上し、布設替工事を長期工事計画に反映した。	A 【A】
22	・長期工事計画の策定（見直し）及び計画に基づく設備更新	電気、工水、駐車場事業の長期工事計画の見直し（2年ごと）	・「工業用水道事業・駐車場事業」について、長期工事計画の見直しを行い、R4年度からR13年度までの10ヶ年の長期工事計画を策定した。 （電気事業は、R2年度に策定済み）	A 【A】
		設備の更新	長期工事計画に基づき、実施した主な内容 ・電気事業では、川口発電所において水車発電機の改良及び内部点検手入れ工事を施工し、新品時の性能復元を図った。また、ランナ、ガイドベーンを「現地補修」から「工場修理」に変更することで、適切な加工により品質を向上させ、設備の信頼性向上につなげた。 ・吉野川北岸工業用水道では今切第一配水支管布設替工事を実施した。（耐震化延長1,090m） ・阿南工業用水道では、第2次管路更新計画として「辰巳配水支管」の耐震化に向けた管路更新設計等の令和4年度予算を計上した。 ・藍場町地下駐車場では経営に支障をきたさないよう、老朽化した泡消火設備配管取替をH30年度から区画ごとに4ヶ年	A 【A】

			で実施した。	
--	--	--	--------	--

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
⑤危機管理体制の強化				
連続地震を見据えたBCP等の見直しと各種訓練・研修の実施 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
23	・BCP、応援協定等の見直し	新たな災害に対応したBCP等の見直し	・「徳島県災害対策本部運営規程」の改定に合わせ、「徳島県企業局災害対策要綱」の改定を実施した。	A 【A】
24	・防災・事故復旧、メガソーラー電力を活用した訓練及び研修の実施	訓練・研修の実施 5回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> 以下の各種防災・事故復旧訓練を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○防火防災訓練（6/24 消火設備取扱訓練・自衛消防訓練、11/25 オイルフェンス敷設訓練（勝浦）） ○5/17 工業用水道管路想定故障事例研修（書面実施） ○1/17 徳島県図上訓練に合わせた相互応援協定に基づく支援要請訓練 「災害時における和田島太陽光発電所の電力供給に関する協定」に基づき、小松島市と訓練を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○1/17 電力供給要請の情報伝達訓練 ○3/3 電力供給訓練（自立運転切替操作） 【実績】 訓練・研修会：R3 6回実施	A 【A】
発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施 【経営企画戦略課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
25	・四国4県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用	訓練の実施 2回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> 1/17の徳島県図上訓練に合わせ、建設業及び設備業協会との応急復旧協定に基づく支援要請訓練を実施した。 1/17に徳島県図上訓練に合わせ、鳥取県との相互応援協定に基づく支援要請訓練を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、四国4県の相互応援協定に基づく訓練は、実施しなかった。 【実績】 訓練：R3 2回実施	A 【A】
湧水対策の推進 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
26	・地下水送水設備の長寿命化対策	計画的な設備等の修繕等	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した設備の計画的な修繕等を実施した。（R3：第2地下水揚水ポンプ取替） 老朽化した設備の修繕等を長期計画に反映した。 R4：第1地下水ポンプ盤取替 R5：第2地下水計装設備保守、第2地下水送水流量計取替 R6：第1地下水受変電設備取替	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
⑥適正な施設の維持管理				
安定供給のためのきめ細やかな点検の実施 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
27	・保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及び規程・基準の適宜見直し	点検件数 年度計画の100%実施	<ul style="list-style-type: none"> 運転保守基準に基づき、定期的な点検（923件）を実施した。 【実績】 点検件数：R3 923件 年度計画（923件）の100%実施 (R2 914件)	A 【A】

			<ul style="list-style-type: none"> ・長期工事計画に基づき、予防保全に必要な改良及び修繕工事等を実施した。 	
		<p>規程、基準の見直し（適宜）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の設置・更新状況、重要度・信頼性に基づき、保安規程、保守基準の見直しを行った。 	<p>A 【A】</p>
<p>平時における機能管理、発災後の速やかな機能回復 【経営企画戦略課、事業推進課、総合管理推進センター】</p>				
28	<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアル、連絡体制及び緊急時技術者派遣協定の適宜見直し 	<p>機器操作マニュアルや緊急時技術者派遣協定等の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「徳島県災害対策本部運営規程」の改定に合わせ、「徳島県企業局災害対策要綱」の改定を実施した。 ・災害及び緊急時の連絡体制を確保するため、「企業局防災計画の勤務時間外等緊急連絡系統図等」、「総合管理推進センター防災計画」等の見直しを実施し、周知に努めた。 ・発災時の応急復旧に備え、H27年度に締結したダムゲート制御装置の応急復旧に係る協定書（2件）に基づく連絡責任者の確認を行った。（発災等緊急時の受入体制整備） 	<p>A 【A】</p>

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
<p>⑦工事、維持管理等の効率化及びSociety5.0の実装に向けた取組</p>				
<p>設備更新・修繕10か年計画の策定 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</p>				
29	<ul style="list-style-type: none"> ・長期工事計画の策定（見直し）及び計画に基づく設備更新 <p>【再掲、No.22】</p>	<p>電気、工水、駐車場事業の長期工事計画の見直し（2年ごと）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「工業用水道事業・駐車場事業」について、長期工事計画の見直しを行い、R4年度からR13年度までの10ヶ年の長期工事計画を策定した。（電気事業は、R2年度に策定済み） 	<p>(A) 【A】</p>
	<p>設備の更新</p>	<p>長期工事計画に基づき、実施した主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気事業では、川口発電所において水車発電機の改良及び内部点検手入れ工事を施工し、新品時の性能復元を図った。また、ランナ、ガイドペーンを「現地補修」から「工場修理」に変更することで、適切な加工により品質を向上させ、設備の信頼性向上につなげた。 ・吉野川北岸工業用水道では今切第一配水支管布設替工事を実施した。（耐震化延長1,090m） ・阿南工業用水道では、第2次管路更新計画として「辰巳配水支管」の耐震化に向けた管路更新設計等のR4年度予算を計上した。 ・藍場町地下駐車場では経営に支障をきたさないよう、老朽化した泡消火設備配管取替をH30年度から区画ごとに4ヶ年で実施した。 	<p>(A) 【A】</p>	
<p>設計の最適化 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</p>				
30	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資と維持経費のトータルコストを考慮した効率的な設計 	<p>トータルコストを考慮した効率的な設計の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野川北岸工業用水道配水ポンプ制御盤取替工事において、汎用リレーを用いたリレーシーケンス制御を採用することで、10年毎のシーケンサ交換が不要であることや、部品調達、保守が容易となり、設備管理の省力化及び保守性の向上によるコスト縮減を図った。 	<p>A 【A】</p>
<p>設備の機能維持、長寿命化 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</p>				
31	<ul style="list-style-type: none"> ・保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及び規程・基準の適宜見直し <p>【再掲、No.27】</p>	<p>点検件数 年度計画の100%実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転保守基準に基づき、定期的な点検（923件）を実施した。 <p>【実績】点検件数：<u>R3</u> 923件 年度計画（923件）の100%実施 <u>R2</u> 914件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期工事計画に基づき、予防保全に必要な改良及び修繕工事等を実施した。 	<p>(A) 【A】</p>

		<p>規程、基準の見直し（適宜）</p>	<p>・設備の設置・更新状況、重要度・信頼性に基づき、保安規程、保守基準の見直しを行った。</p>	<p>(A) 【A】</p>
<p>「企業局のスマート化」の推進 【事業推進課、総合管理推進センター】</p>				
3 2	<p>・設備の保守管理等にIoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの革新技術を実装・活用</p>	<p>AIトラブルシューティング、異常予知システムの実装・活用</p>	<p>・H30年度にAIトラブルシューティングの支援システムを導入し、総合管理推進センターから各発電所施設の運転制御を継続的に支援した。 ・勝浦発電所に導入する「AI異常予知システム」構築に向け、蓄積データの分析を行い実装の可能性について評価した。水力発電分野での課題を整理し、今後、発電・工業用水設備での導入検討について繋げることができた。 ・日野谷発電所に施設状況をモニタリングする固定カメラ、職員の安全性を高める水中ドローン、Wi-Fi・スマートフォンを利用したウェアラブルカメラを導入した。</p>	<p>A 【A】</p>
		<p>産学官との連携等で培ったノウハウを活かしたドローンの活用</p>	<p>・日野谷発電所放水路ゲート、川口ダム浮ゲート等の施設点検に新たに水中ドローンを活用した。（2件） ・工業用水道の水管橋（ランガー橋）の点検等に空中ドローンを活用した。（4件） ・R2年度に引き続き、ドローン操縦技能の習得のため、政策創造部が実施するUAV操作技能講習会に参加した。（修了者累計4名）</p>	<p>A 【A】</p>

経営目標3 経営力の強化

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
⑧未来を切り拓く人づくりと組織づくり				
新たな取組の推進に向けた組織体制の強化 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
33	・計画的な採用による人材補強	電気、機械職の継続採用枠の確保	・R3年度は、引き続き計画的な採用を実施し、人材補強を図るために電気職4名、機械職2名を採用した。	A 【A】
34	・新たな課題に対応するための検討チームの設置	他部局及び若手職員を含めたタスクフォースを設置し、課題を検討毎年実施	・3つのTF（企業局スマート化、カーボンニュートラル対応検討、藍場町地下駐車場等・利用促進）を設置し、R4年度の当初予算への反映を行った。 ・徳島県自然エネルギー電力活用検討プロジェクトチームを設置し、課題について協議を行った。 【実績】TF設置・課題検討：R3 4件	A 【A】
企業局の新たな広報・PRの取組 【経営企画戦略課】				
35	・新たな時代に即した戦略的な広報・PRを通じた企業局への理解の促進	PR動画やエコバック等の制作・活用	・企業局事業の県民理解促進のため、「徳島県企業局PR動画～自然をチカラに～」をプロポーザル方式で制作し、公開を行った。 ・R2年度に制作したオリジナルエコバックを川口エネ・ミュージアムや小松島市総合防災訓練等のイベントで配布した。	A 【A】
技術伝承による現場力と技術力の強化 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
36	・若手職員育成、OJT、資格取得・研修	新規技術職職員に対する専門技術研修の実施	・年度当初に「転入者（新採）研修」を実施するとともに、通年で「現場操作訓練」、「事故復旧訓練」を実施した。 ・日常業務の中で「現場での点検作業や工事監督を活用した職場内研修・教育（OJT）」を実施した。 ・電気主任技術者等の資格取得のための講習など「資格取得」や「技能研修」を実施した。 ・プレゼン能力の向上のため企業局技術発表会で7名が発表し、優秀者を表彰した。	A 【A】
活発な人事交流による「幅広い視野」と「新たな発想」を持った人づくり 【経営企画戦略課】				
37	・他部局、他機関との積極的な人事交流	本局への新規配置年1名以上	・本局へ電気職2名の新規配置を行った。 【実績】本局への新規配置：R3 2名	A 【A】
		他部局等との人事交流の実施年1名以上	・総務省（電気職1名）、市町村（那賀町、電気職1名）、グリーン社会推進課（電気職1名）、水・環境課（電気職1名）との人事交流を引き続き実施した。 【実績】他部局等との人事交流：R3 4名	A 【A】
産官学での共同研究等による専門性のスキルアップ 【経営企画戦略課、事業推進課】				
38	・大学、民間等との連携	職員スキルアップのための共同研究等	・小水力発電の普及促進に寄与する山間地域の溪流を利用した低コストかつ容易に設置可能なピコ水力発電機の実証実験に、徳島大学等と連携して取り組んだ。 【実績】大学、民間等との連携：R3 1件	A 【A】
現場からの業務改善の徹底によるコスト意識の醸成 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
39	・業務と維持管理費等の効率化	現場職員と幹部職員との業務改善等に係る意見交換の	・技術発表会において幹部職員に対するTF成果報告を11月5日と8日に実施した。 ・各TFメンバーに幹部職員が入り、検討会の中で意見交換	A 【A】

	実施 年2回以上	を実施した。 【実績】意見交換年2回以上：R2 2回（技術発表会）	
--	-------------	--	--

取 組	K P I 重要業績評価指標	令 和 3 年 度 の 進 捗 状 況	評 価
⑨経営資源の有効活用			
日野谷発電所の発電能力の最大限活用 【事業推進課、総合管理推進センター】			
40	・日野谷発電所の最大取水量の弾力的運用による発電能力の最大限活用 最大取水量の弾力的運用	・認可最大出力を超えない範囲における日野谷発電所の最大取水量の増量により、出水時に発電電力量の増加に繋がった。（運用実績：出水9回で約69万kWhの増加）	A 【A】
電力システム改革への対応 【事業推進課】			
41	・社会情勢等を見据えた最適な契約方法や国の動向を調査 各種会議等での情報収集、意見交換回数 3回以上/年	・容量市場の制度変更に関する説明会に参加し、情報収集を図った。（4回実施） ・他県と電力のシステム改革について、意見交換により、情報収集を図った。 ・自治体新電力事業に関する講演会を開催し、情報収集を図った。 ・他県の売電に関する検討状況を把握することで、売電に関する情報収集を図った。（2回実施） 【実績】意見交換回数：R3 8回実施	A 【A】
未売水の低減対策 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】			
42	・新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大 契約有収率 (契約水量/給水能力) R2 74% R3 75%	・既存ユーザの増量見通しや要望について、アンケート調査を実施するとともに、企業訪問（13社）を実施した結果、契約水量1,900m3/日の増大に繋がった。 【実績】契約有収率：R3 74% (R2 73%)	B 【B】
43	・受水企業訪問（毎年）、アンケート調査によるニーズ把握 企業訪問数15社以上/年	・受水企業10社及び新規企業3社に対し、企業訪問を実施した。 【実績】企業訪問15社以上：R3 13社	B 【B】
		・アンケート調査（例年実施分）を12月に実施した。（内容は、基礎データ、使用水量見通し等） ・アンケート調査（隔年実施分）を12月に実施した。（内容は、BCP、WEB会議関係について） ・アンケートの結果、吉野川北岸工業用水道、阿南工業用水道の受水企業各1社の増量計画を確認した。 【実績】アンケート実施：R3 実施	A 【A】
廃棄物の資源化 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】			
44	・ダムの流れ木、浄水発生泥土などの有効利用 流れ木、発生泥土の有償販売 利用率100%	・発生泥土196t ⁺ を民間業者へ売却し、園芸用土や漆喰の原料として有効活用した。 ・流れ木陸揚整正量は、7t ⁺ を民間業者へ入札売却し、チップとして有効利用した。 【実績】利用率100%：R3 利用率100%	A 【A】

駐車場利用台数の確保 【経営企画戦略課】				
45	・ 駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保	利用台数 20万台以上/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度までのアンケート結果等から、松茂駐車場キャッシュレス化や藍場町地下駐車場精算機の新500円硬貨対応を拡充、使い捨てマスク無料配布キャンペーンを実施した。 ・ R2年度に比べると利用台数は微増したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前に比べると利用台数は減少したままである。 <p>【実績】 利用台数20万台以上：R3 利用台数124,051台</p>	C 【C】
駐車場の利便性向上策 【経営企画戦略課】				
46	・ 他施設、イベント等との連携	キャンペーン等の実施 年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨てマスク無料配布キャンペーンを実施した。 ・ カイロ無料配布キャンペーンを実施した。 ・ 駐車場の1室を未来創生文化部と連携し、無償によりNPOビレッジとして活用した。 <p>【実績】 年2回以上：R3 2回（キャンペーン）</p>	A 【A】
47	・ 顧客、バス会社等からの情報収集及び分析	高速バス利用状況の把握と対応の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の松茂バス停留所のバス運行状況及び利用者数を情報収集した。 ・ R2年度に比べると回復しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による高速バス減便の影響により、コロナ前に比べると減少している。 	A 【A】
リース契約地の売却 【経営企画戦略課】				
48	・ 契約企業への営業活動、他部局連携による情報収集	企業訪問による状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工労働観光部と連携し、西長峰工業団地において全ての企業操業が実現したため、引き続き適正な維持管理に努めた。 ・ リース契約企業であるメテック（株）と面会し情報交換を行うとともに誘致企業である西精工（株）と工場増設に係る協議を実施した。 ・ 局有地の有効活用を図るため、商工労働観光部と情報交換を実施した。 	B 【B】
工業用水道会計への財政支援 【経営企画戦略課】				
49	・ 工業用水道会計の負担軽減による進捗の加速	電気、土地造成事業からの資金融通の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業用水道事業長期工事計画において、資金需要に応じた資金融通計画の見直しを実施した。 <p>（借入額累計29億円 H24:2億、H27:9億、H28:9億、H29:5億、R2:4億、残債27億円）</p>	A 【A】
資金の効率的運用 【経営企画戦略課】				
50	・ 有利な運用利率の確保と検討	効率的な資金運用の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金利引合による短期定期運用（3ヶ月定期）により、最も安全かつ有利な資金運用を実施した。 ・ 資金の流動性確保に努めた。 	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和3年度の進捗状況	評価	
⑩情報収集の強化				
制度改正等の情報収集・提案 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室】				
51	・ 制度改正、規制緩和への政策提言	政策提言の実施及び政策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月の政策提言において、「2050年カーボンニュートラルに向けた公営企業による取組の推進」について提言した結果、R4当初予算に一部が反映された。 	A 【A】

顧客・利用者のニーズ調査 【経営企画戦略課】				
5 2	<ul style="list-style-type: none"> 受水企業訪問（毎年）、アンケート調査によるニーズ把握 【再掲、No. 43】 	企業訪問数15社以上／年	<ul style="list-style-type: none"> 受水企業10社及び新規企業3社に対し、企業訪問を実施した。 【実績】企業訪問15社以上：R3 13社 	(B) 【B】
		アンケートの毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査（例年実施分）を12月に実施した。（内容は、基礎データ、使用水量見通し等） アンケート調査（隔年実施分）を12月に実施した。（内容は、BCP、WEB会議関係について） アンケートの結果、吉野川北岸工業用水道、阿南工業用水道の受水企業各1社の増量計画を確認した。 【実績】アンケート実施：R3 実施 	(A) 【A】
5 3	<ul style="list-style-type: none"> 利便性向上、利用者ニーズ把握に係る駐車場利用者へのアンケート調査 	アンケートの実施年1,000人以上	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場事業の指定管理者において、R3年4月～R4年3月の間、藍場町地下駐車場の利用者に対し、アンケート調査を実施した。 さらに、「県営駐車場アンケート事業」として、R3年10月～R4年3月の間、藍場町地下駐車場及び松茂駐車場の利用者に対し、新たなニーズの掘り起こしのため、R2年度から内容に工夫を加え、アンケート調査を実施した。 R2年度までのアンケート結果等から、松茂駐車場のキャッシュレス化の拡充、藍場町地下駐車場精算機の新500円硬貨対応などを実施した。 【実績】アンケート1,000人以上：R3 980人 	B 【A】
ホームページ、フェイスブック等での意見聴取 【経営企画戦略課】				
5 4	<ul style="list-style-type: none"> SNS等の活用 	SNSフォロワー数50人以上増／年	<ul style="list-style-type: none"> 企業局SNSを継続し、R3年度にフォロワー数80人が増加した。 【実績】SNSフォロワー増加数：フェイスブック9人増、ツイッター121人増 R3 Facebookアクセス数：4,719、Twitterアクセス数：89,959 Facebookフォロワー数：151、Twitterフォロワー数：640 R2 Facebookアクセス数：7,682、Twitterアクセス数：112,562 Facebookフォロワー数：142、Twitterフォロワー数：519 R1 Facebookアクセス数：14,146、Twitterアクセス数：60,918 Facebookフォロワー数：－、Twitterフォロワー数：360 	A 【A】
経営情報等の開示 【経営企画戦略課】				
5 5	<ul style="list-style-type: none"> 第三者が行う会議やホームページでの開示とパンフレット・冊子の発行 	決算状況等を会議やホームページで開示毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的経営推進委員会で決算概要を開示した。 企業局ホームページで決算概要、財務諸表、予算概要を開示した。 	A 【A】